

ようこそ登米市へ!! 見どころ・イベントのご案内



ゲンジボタルの鑑賞 (東和)
鱒淵川に集団生息する源氏ボタルは国指定の天然記念物。夏の夜、清流を舞台に乱舞するボタルの幻想的な風景は必見です。(6月下旬～7月上旬・東和町米川軽米地区)

みなみかた花菖蒲まつり (南方)
300種類80万本の花菖蒲が咲く花菖蒲の郷公園では、花菖蒲の株や地場産品の販売、モデル撮影会などが開催されます。
(6月中旬～7月上旬・みなみかた花菖蒲の郷公園)



佐沼夏祭り (はさま)
アマチュアバンド演奏会やおはやし大鼓演奏会、みこし大行進。夜には花火。
(7月25～26日・佐沼大通り商店街)

あじさいまつり (石越)
チャチャワールド内の赤松林の中、一面に色鮮やかに広がるあじさい園。例年6月末から7月中旬頃には和品種、西洋品種70種類約3万株のあじさいまつりが開催されさまざまなイベントが繰り広げられます。
(7月1日～20日・チャチャワールドいしこし)



秋葉山神社まつり (豊里)
釜神太鼓に合わせて「水掛神輿」が町内を練り歩く。神輿を迎える家庭では火伏せ、家内安全の願いを込め、神輿に水を掛け合う。
(9月23日・豊里町仲町・川前地区)



長沼はすまつり (はさま)
湖面いっぱいにハスの花が咲く7月下旬から8月末に開催されるはすまつりです。小型遊覧船が運行され、ピンク色のハスの花の間をすすんでいく眺めに感動。
(8月1～31日・兵粮山公園)



みやぎ北上連邦サマーフェスティバル (東和)
(8月15日・米谷地区)

ふるさと花火IN長沼 (はさま)
長沼の湖面いっぱい広げられる巨大スターマイン。大ナイアガラ、夜空いっぱいには数々の打上げ花火。オランダ風車もくっきりライトアップされ大自然の中で光と音の芸術は観衆も思わず息をのむほど圧巻です。
(8月13日・長沼フートピア公園)



とよま秋まつり (登米)
登米地区の伝統芸能が勢揃いする。祭りや山車は330年続いている登米型。7種類のお囃子が囀り響く中、山車と神輿20台が町を練り歩きます。とよま能・南部神楽・小笠原流百々手式呂術・踊り/パレード・住田町鉄砲隊などと住民あげて祭りに酔いしれます。(9月19日・20日登米町内一円)



もっこり牛まつり (南方)
おいしい登米産「仙台牛」が楽しめます。牛の丸焼きコーナーでは、一晩かけて焼き上げた仙台牛を食べられます。
(8月14日・南方総合運動場)



YOSAKOI & ねぶたinとよさと (豊里)

よさこい踊りの見所は、躍動感溢れる「舞い」で、地元の小・中学生チームも含め、県内外約40チームが思い思いの「舞い」で観客を魅了するほか、飛び入り参加できる「総踊り」もあります。また、子ども会や町内会などで工夫を凝らして作った「ねぶた」20基が駅前通りを練り歩くさまも圧巻です。(8月14日・JR陸前豊里駅前通)



綱木之里大名行列 (東和)
1564年(永禄7年)、鳩岡城主葛西民部少輔が八幡神社を再建し、神輿や太鼓などを寄進した時から始められたという歴史ある大名行列です。毛氈の投げ渡しが見どころ。(9月20日・東和町米川地区)



東北最大の20,000人フリーマーケット (はさま)

登米市佐沼中央商店会名物として登米市役所前大広場は600店以上の出店者で賑わいます。いろいろなイベントも盛り沢山で楽しいふれあいとお買い物ができます(10月中旬)



新能 (登米)

伊達藩主が作り上げた流派・大倉流を、明治維新以降、唯一伝承したのがとよま能。とよま秋祭り(宵)に奉納する。境内が手狭になり場所を転々としたが、念願の森舞台ができ、かがり火の中の能は幽玄の世界。全国からの見学もあります。(とよま秋祭りと同開催)



登米市豊年かがしまつり (はさま)

稔りの秋を迎え毎年豊年万作を祈願し、100体以上の創作かがしが佐沼大通り商店街の店頭列び、かがしコンクールや歌謡ショーなどいろいろなイベントも催されます。「かがしあでん」や「かがしまんじゅう」「かがしうどん」なども発売されます。(10月中旬の日曜日)



長沼フートピア公園 (はさま)



石ノ森章太郎ふるさと記念館 (中田)



教育資料館 (登米)



平筒沼ふれあい公園 (米山)



三滝堂ふれあい公園 (東和)



チャチャワールドいしこし (石越)



鍋波洗堰 (豊里)



もくもくらんど (津山)